

2021年度 第1回 学校教育事業委員会 議事録

日 時：2021年6月8日（火）
午後6時30分～8時00分
Zoomでのオンライン会議

I. 出席予定者

瀬瀬 真知子（長）、海老 直人（副）、岩野 祐介、追原 三重、中出 恵子、林 敬子
(以上委員)

松田 道子（担当理事）

高等学院担当職員 櫻井 英治、川北陽子

専門学校担当職員 鐘 瑞悦、古谷 茉穂、坂本 孝司（担当主事）

(以上職員)

I. 欠席予定者

岩本 哲人、土肥 伊都子

(以上委員)

I. 退任委員挨拶

林 敬子氏、追原三重氏

1. 聖書朗読

創世記 1章 3節 「光あれ。」

(2021年神戸YMCA年間聖句)

I. 開会祈祷（坂本孝司氏）

I. 議題

1. 神戸YMCA全体報告（松田道子氏）

・3度目の緊急事態宣言が発令され、両WCは休業要請があり、休業していたが、1度目の延長の際、土日休業はより平日に密になることから時短営業を行っている。

・各法人で2020年度事業報告・監査を終え、6/26総会にて報告予定（学法・社福はコロナの影響を多少受けた。公財は△1.4億となり、正味財産を減少させる結果となつた。昨夏修正予算を組み直した後、各部の働き、また助成金や税納入延期となり、改善しての結果となつた。

・2020年度理事による委員会タスクで協議を行い、委員会再編に向けて原案を作成した。その後、神戸キリスト教青年会が所管する委員会とも合わせての編成となつた。結果、地域委員会を発展的解消とし、5月理事会、そして昨日の評議会へ委員名簿提出を行つた。今後、総会を経て委員委嘱となる。

2. 2020年度各校の状況報告

1) 高等学院（櫻井英治氏、川北陽子氏）

別紙「高等学院報告」に基づき報告があり、以下の補足がなされた。

・学校状況について

学校内の衛生活動に生徒たちが協力している。生徒達で衛生管理を徹底していることで意識付けを行つてはいる。おかげで対面授業が実施出来ている。緊急事態宣言下である為、行事や放課後活動が制限されており、生徒同士の交わりが減つてはいる状況である。

- ・募集状況について

2021年4月入学者が15名中14名合格。3名が辞退となった。

年々、10名づつ3年生の生徒数が減っていることに危機感を感じている。22年度広報は、資料請求者や説明会参加者への連絡を絶やさないように、オープンハイスクールへの誘導を積極的に行う。

WEB広告も引き続き実施中であり、バナー広告を打ち出し戦略的に広報を行っている。

- ・学校アンケートについて

前期折り返し時点で中間補習を受ける生徒は出でていない。学校生活に於いて現時点で大きな問題はないが、登校が難しい生徒もいる。

今年度は学年別保護者会を実施。生徒とは個別で面談を実施。また、講師会も実施し、生徒の様子を共有する機会を設けた。

1年生：不登校気味で不安を抱えていた生徒も、入学後学校生活のリズムに乗るスピードが速く順応もしているが、それが反対に心配材料でもある。自発的に動こうとする生徒も出てきており、学習意欲を感じるが、今後の学習進度、長期休み後の精神面の観察、フォローが必要である。

2年生：全員ではないが、学校生活に余裕を持てる生徒が増えてきた。その分、進路指導との結び付けを早めに考えたい。

3年生：進路に対して不安を感じている生徒もいる。進路決定までは個別に丁寧な聞き取りをすること、精神面のサポートが必要である。

中出委員より、去年よりは学習を進めていくいい環境にはなった。マスクをしている関係で、コロナ以前に比べると生徒同士の交わりがないことは非常に残念に思う、と意見がなされた。

2) 専門学校 (①ホテル学科、②日本語学科)

別紙「神戸YMCA学院専門学校報告」に基づき報告があり、以下の補足がなされた。
①ホテル学科 (古谷茉穂氏)

・2021年度は新入生29名、内1名専修科、留学生3名だった。
・オーブンキャンパスは来校型は週末、オンライン型は平日夕方、高校から参加できる方法で行っている。

・資料請求数が4月・5月ともに2019年度より増加している。

・ホテルでのアルバイトが激減しているなかでも学生たちは前向きに考えているようだ。
・10社余りの企業から実習受入れ可能の返事をいただいているので、今年は1・2年生共に実習に送り出したい。

海老委員から「就職後、学校に再就職の相談にくる学生は増えたか?」との質問に対し、離職の報告はあったが再就職の相談はなかった、ホテルでの就職が難しくなっているので別の職種の企業で就職を考えているのかもしれない、と回答した。

②日本語学科 (鐘 瑞悦氏)

- ・過去3か年の留学ビザ申請数が補足された。

2019年度	43件
2020年度	11件
2021年度	13件
- ・2021年4月入学でまだ来日できていない学生が10名いる。これからのコロナの状況によっては2021年10月申請生の来日にも影響がでると思われる。

3. その他

- ・大学生の就職活動の変化
 - ONLINE中心になっている
 - キャリアセンターも ONLINE 中心になっているため、積極的な学生は上手く情報を得ている。
 - 学生間で交わされる有益な情報を得ていた学生もある一定数いたため、それができなくなっているの状態である。
- ・大学のオープンキャンパスの実施状況
 - 今年度は4月に対面授業を始めたが、緊急事態宣言が発令され ONLINE 授業となっている。
 - 対面の場合は現役の学生に質問する機会があったが、今はそれがどうなっているのか不明である。
 - スポーツクラブ等はコロナ対策を設けて実施している。
- ・大学の ONLINE 評価
 - 関西学院神学部では教員の FB を通して共有しているが、昨年度の対面授業では、1年、2年は対面授業を行っていた。
 - ONLINE のメリットもあるが、デメリットもある。
 - メリットとして見直せたり、聞き直せたりするが、授業の前後の対話ができない。
 - ハイブリッド方式ではどうしても対面にいる学生が主になる。
 - コミュニケーションを欲している学生に対してどのように機会を提供できるのかが課題である。会えば生活環境も知ることが出来るのだがそれもできない。
 - ・コロナ禍で授業は実施しているが、それ以外が実施できていないことが残念である。
 - 学生・生徒間の交わりは貴重であるため、早くそれらが出来るようになるよう願っている。
 - ・アルバイトもできず、余分なこともできないことも経験を少なくしている。
 - ・ホテル就職希望する学生へのアドバイス
 - このような機会だからこそ与えられる仕事もある。求めているものと違うものが得られる喜びがある。
 - 例) 急なアテンドでの出会いや学び、また他部門の経験ができる。

4. 閉会祈祷 (岩野 祐介氏)

I. 閉会

以上